

年 組 名前:



甲府・石田小(野沢初美校長)は本年度、文部科学省の生成AI(人工知能)パイロット校の指定を受け、校内での活用を研究している。働き方改革の一環として、主に校務で導入。業務の効率化を進め、児童と向き合う時間の確保などを目指す。教職員の生成AIリテラシーの向上を図りながら活用事例を収集し、効果的な使い方を探る。  
(杉原みずき)

# 生成AI 教員活用探る

## 石田小 文科省指定校に

### 業務効率化へ 事例収集



生成AIを使って発表会で使用する資料の案を練る教員  
甲府・石田小

同校は昨年度から「リーディングDXスクール」の指定を受けて、ICT(情報通信技術)の活用推進や校務のデジタルトランスフォーメーション(DX)に取り組んでいる。このうち生成AIの活用を進めるパイロット校は、県内で同校のみとなっている。同校は本年度、教職員の生成AIリテラシーの向上や活用事例を学ぶ研修を重ねている。行事案内をはじめとした保護者への通知、掲示物のデザインなどのたき台作成に活用。AIによる案をベースに教員が内容を検討し、同校の児童や保護者に合わせたものにしていく。アンケート集計にも生かしている。野沢校長は「AIの提案にまずは教員がしっかり学んで、業務効率化の効果を実感できるようにしたい」と話している。

(2024年10月5日付 山梨日日新聞 17面)

問1 本年度、甲府・石田小は、なにの研究をするパイロット校の指定を受けましたか。

.....

問2 昨年、石田小は「リーディングDXスクール」の指定を受け、なにに取り組んでいますか。

.....

問3 あなたは、「生成AI」をどのように活用することが良いと思いますか。

.....